

水道 News 現場レポート 7

台風21号の災害復旧にエスロハイパーが貢献！

台風21号の影響による土砂崩れで被災し、給水が停止した簡易水道の仮設送水管にエスロハイパー75Aが採用されました。

工事では、施工性の良さを十分に発揮！1300mの配管を1日で完了しました。

現地位置図



< 概要 >

2004年9月29日夜に滋賀県内を通過した台風21号の影響で、大津市葛川梅ノ木町の山中で土砂崩れが発生。梅ノ木簡易水道の浄水池(27m³)と塩素滅菌室が被災し、付近の106戸が給水停止となった。

大津市は、9/30に災害対策復旧本部を設置、近隣の簡易水道から、水を供給する方針を決定した。

大津市企業局から、相談を受けた積水化学では、全面協力を約束。10/1に、水道配水用ポリエチレン管:エスロハイパーにより、仮設送水管の配管作業を実施した。

管種: 水道配水用ポリエチレン管(エスロハイパー)75A

延長: 1300m

備考: 道路路側帯に沿って行い、露出配管とした



配管区間は、国道367沿い。国道367号線は、旧鯖街道にあたり、昼夜を通して、交通量が多い。



配管資材は路側帯に並べ、順次融着作業を実施。融着班は最大5班とし、固定金具(クランプ)は、各班4個ずつ準備。



迅速かつ確実な作業が進む。各工程を選任化、分業体制を組むなど効率化を図り、施工時間は平均5分/箇所。



交通量の多い道路の路側帯では、ガードレールの外側での作業や、警備員による交通整理を実施することにより、事故防止に努めた。



ポリエチレン管の柔軟性を生かし、道路に沿って、生曲げで配管を実施。曲がりくねった道で威力を発揮する。



作業性の悪い区間では、先に接合した長尺管で配管。重量は約10kg/5mで、長尺管(15m)も数人で小運搬が可能。



夜間の配管作業は、投光器を設置して実施。また、警備員による交通誘導を行い、作業員も反射材を着用するなど事故防止を徹底。



配管終了後、通水試験を実施。接合箇所は、250箇所以上に及んだが、いずれも漏水なく、EF接合の信頼性の高さを改めて実感。

配管作業は、実質 12 時間 (9:00 ~ 22:00, 昼食休憩 1 時間除く) で終了。

1 箇所, 5m 当りの作業時間 (接合・小運搬) は、約 10 分であり、エスロハイパーの施工性を実証できました。

前半: 実働 4 班, 後半: 実働 3 班で計算

ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。